

新チーム結成

住友ゴム工業(株)白河工場・女子ソフトテニス部 チーム名「ダンロップ」

念願の女子実業団チームが本県に誕生しました。今後本県の女子強化・普及の中心として期待されるところです。以下は5月16日にチーム紹介をした際の新聞記事です。

(県ソフトテニス連盟 理事長 川島 登)

「本県に北海道・東北地区では唯一の女子ソフトテニス実業団チーム「ダンロップ」がこのほど発足した。5人の選手全員が住友ゴム工業白河工場の社員で、日本一をめざして強化に励む。

16日、白河市のしらさかの森スポーツ公園テニスコートで行われた第5回SRI・ダンロップ杯東日本中学選抜ソフトテニス大会の開会式で初めて紹介された。

メンバーは本県出身が3人、神奈川県と愛知県出身の選手が各1人。いずれもインターハイやインカレ、国体などの団体戦、個人戦で活躍してきた。同チームの吉田茂監督(51)は県ソフトテニス連盟強化委員長を務め、本県出身選手は小学生の頃から指導してきた。

吉田監督は「近い将来日本一を目指し強化に努める」と抱負を述べ、同連盟の川島登理事長も「全国的にもレベルの高い少年層が他県に流出しなくなる。本県のソフトテニス界の核となってほしい」と期待している。

選手が所属する同工場の高見昌文執行役員工場長は「ダンロップ製品を製造する会社としての地元貢献度の一環」とチーム結成の意義を話し、選手を全面的にバックアップしたいとしている。チームは今年7月の全日本実業団選手権、10月の同リーグ戦に参戦する。」

選手は次の通り

掛端奈保美 (主将 郡山四中、高崎健康大附属高、日本女子体育大学卒)

井戸川美南 (大熊中、小高商高、昭和学院短大卒)

塚谷麻衣子 (神奈川県出身、日本女子体育大卒)

岩瀬 亜巳 (愛知県出身、愛知高校卒)

大槻 桜 (西郷一中、高崎健康大附属高卒)



東日本中学選抜大会開会式で紹介される新生チーム「ダンロップ」



東北・北海道唯一の女子実業団「ダンロップ」手前左から井戸川美南、掛端奈保美、大槻桜、後列左から吉田茂監督、塚谷麻衣子、岩瀬亜巳